



クライアント 操作マニュアル

C00-03 クロス集計表画面

株式会社 エヌジェーケー

- ・このソフトウェアの著作権は、株式会社エヌジェーケーにあります。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することは法律で禁止されています。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルは、本製品の使用許諾契約書のもとでのみ使用することができます。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・このソフトウェアの仕様およびマニュアルに記載されている事項は、将来予告なしに変更することがあります。
- ・このマニュアルで使用している画像には、開発中のももの含まれます。実際の製品と異なる場合がございますことをご了承ください。

DataNature および DataNature Smart は、株式会社エヌジェーケーの登録商標です。
その他の商品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

CONTENTS

マニュアルの表記	C00-03_0
1.クロス集計について	C00-03_1
2.表組み画面	C00-03_2
2-1 基本操作	C00-03_3
2-2 特殊な画面構成要素	C00-03_5
◆ 期間日付の設定	C00-03_5
◆ 階層項目の設定	C00-03_6
◆ 計算式の追加	C00-03_7
2-3 予測値設定画面	C00-03_8
3.クロス集計表画面	C00-03_10
3-1 画面について	C00-03_11
集計表の「デザイン設定」について	C00-03_13
3-2 主な機能	C00-03_14
◆ データセレクト	C00-03_14
◆ 条件集約	C00-03_17
◆ 対比計算	C00-03_18
◆ 条件付き書式	C00-03_20
◆ ランキング(順位)	C00-03_22
◆ 参照項目設定	C00-03_24
◆ 印刷/データ出力	C00-03_25

マニュアルの表記

◆ 呼称について

本マニュアルでは以下の呼称を使用しています。

DataNature Smart 管理ツール :DN 管理ツール
DataNature Smart クライアント :DN クライアント
DataNature Smart Personal :DN クライアント

◆ 画面に表示されるコマンド名などの文字

コマンド名やダイアログボックス名など、画面上の固有の文字は [] で囲んで表記します。なお、ユーザーによって異なるデータボタンは < > で囲んで表記します。

【例】

[編集]コマンド、[検索]ダイアログボックス
<大阪営業所>データボタン

◆ マニュアルで使用しているアイコン



“注意”を意味します。

知っておくべき重要な事柄や行なってはならない操作など、注意すべきことについて記載されています。



“ポイント”を意味します。

操作や内容のポイントとなる事柄について記載されています。



“参考”を意味します。

知っておくと便利な操作や内容などのノウハウについて記載されています。



“参照”を意味します。

操作や内容に関連するマニュアルの参照ページについて記載されています。

◆ マニュアルで使用している画像について

マニュアルで使用している画像には、開発中のものも含まれます。実際の製品と異なる場合がございますことをご了承ください。

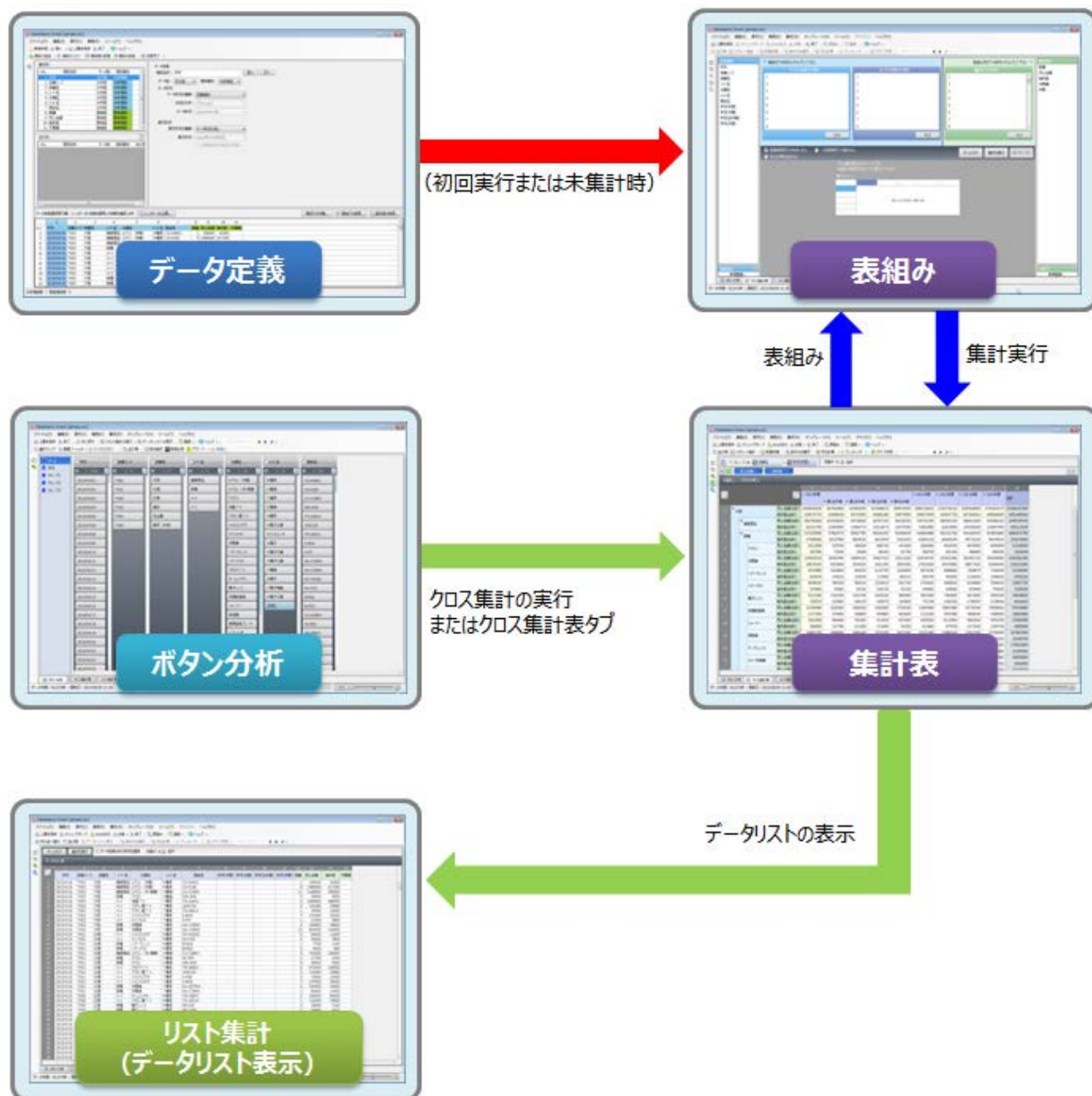
◆ 機能について

導入された製品構成によって、利用できない機能や制限があります。

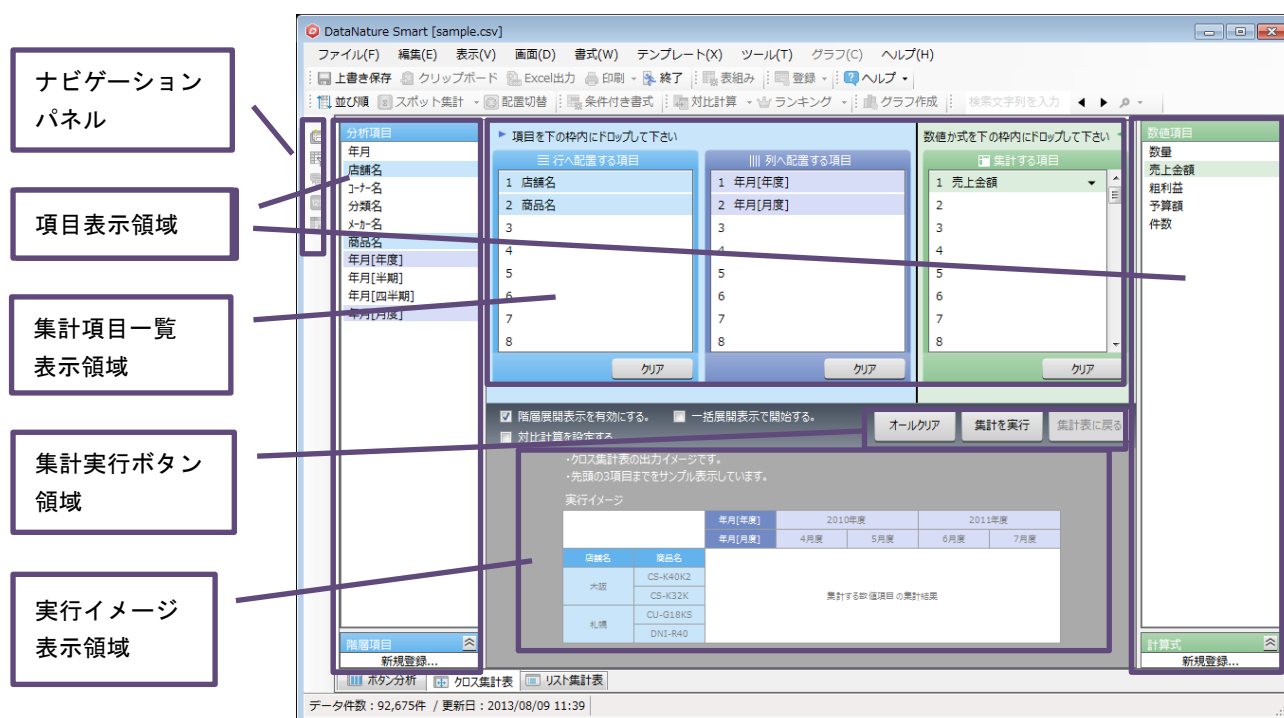
1. クロス集計について

クロス集計表は、集計表の構成要素を組み立てる「表組み」、集計した結果を表示する「集計表」の、2 つの画面で構成されています。

画面の遷移は次の通りです。



2. 表組み画面



表組み画面は、次の要素で構成されています。

■ ナビゲーションパネル

画面操作をサポートする機能アイコンが並んでいます。クロス集計画面の表組みでは、「テンプレート一覧」と「データセレクト」を利用できます。

■ 項目表示領域

集計表の構成要素となる「分析項目」、「階層項目」の一覧が左端に、「数値項目」、「計算式」の一覧が右端に表示されます。これらの中から集計表にしたい項目を集計項目一覧表示領域にドラッグ＆ドロップして表を組み立てます。

■ 集計項目一覧表示領域

[行へ配置する項目]、[列へ配置する項目]、[集計する項目]があります。項目表示領域からドラッグ＆ドロップした項目を表示します。

■ 集計実行ボタン領域

集計の実行や表示のクリアを行います。

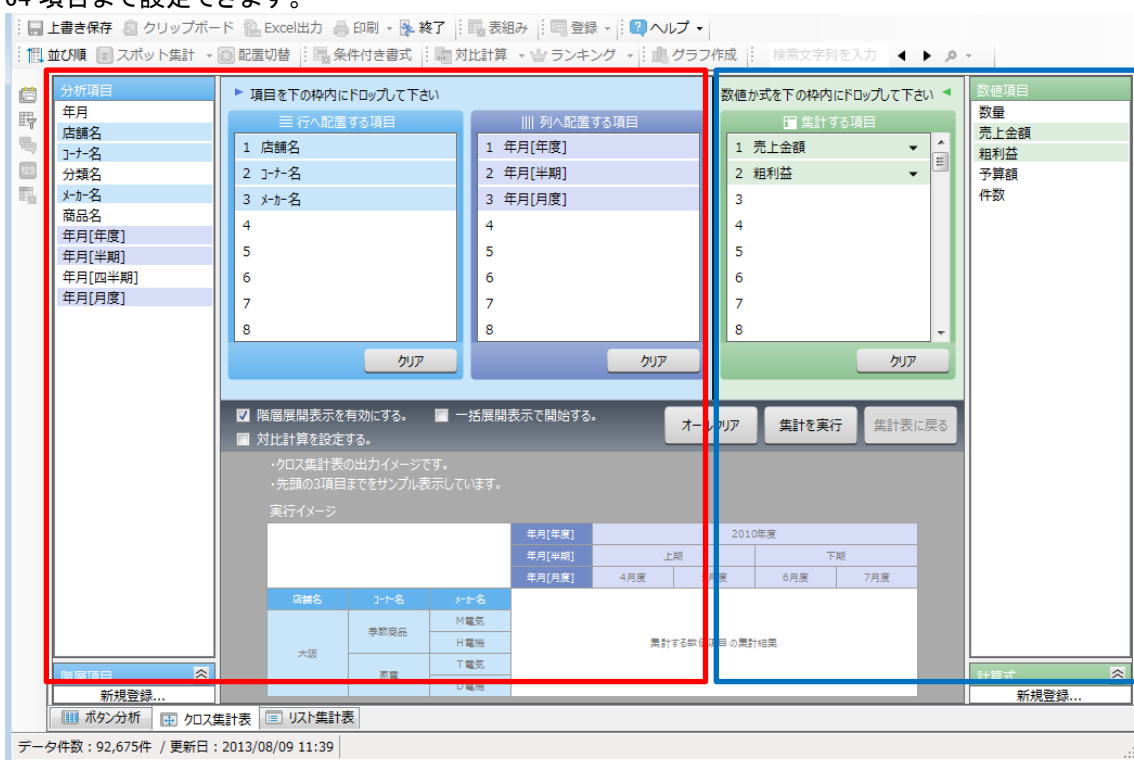
■ 実行イメージ表示領域

集計項目一覧表示領域の内容を基に、集計表イメージを最大3階層まで表示します。参照のみで操作はできません。

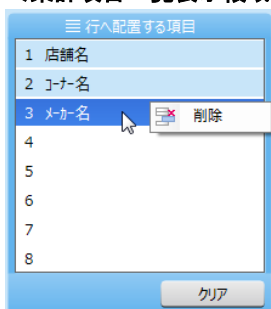
2-1 基本操作

データ定義画面のツールバー[定義完了]のドロップダウンリストから[クロス集計]を選択した場合には、この表組み画面で集計表の構成要素(行/列項目、集計項目)を組み立てます。また、クロス集計表から表組み画面に戻って、構成要素を変更することもできます。

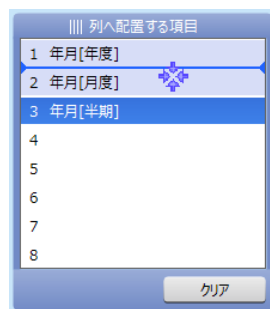
- 1 [分析項目]や[階層項目]一覧から、集計表の行/列に配置する項目を[行へ配置する項目]、もしくは[列へ配置する項目]にドラッグ&ドロップします。それぞれの2つ以上の項目を設定すると、ドリルダウン分析のための階層になります。行/列ともに最大8項目(階層)まで設定できます。
- 2 [数値項目]や[計算式]一覧から、集計に用いる数値項目を[集計する項目]にドラッグ&ドロップします。最大64項目まで設定できます。



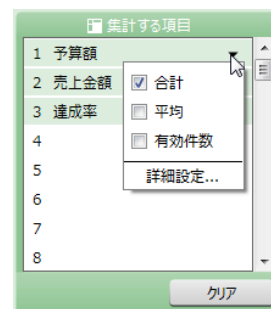
<集計項目一覧表示領域>



■項目を対象から外す
項目上で右クリックして[削除]するか、元の一覧へドラッグ&ドロップして戻します。一括で外す場合は[クリア]ボタンをクリックします。



■項目の並び順を変更する
対象項目をドラッグして、配置する位置に青線が表示されたらドロップします。



■集計方法の設定
数値項目の横に表示される[▼]ドロップダウンリストから、集計方法を設定できます。
※クロス集計表画面に移った後に調整することもできます。

- 3 実行イメージ表示領域で、行/列に指定した項目の3項目までのイメージを確認できます。

☒ 階層展開表示を有効にする。 ☐ 一括展開表示を開始する。

☐ 対比計算を設定する。

・クロス集計表の出力イメージです。
・先頭の3項目までをサンプル表示しています。

実行イメージ

		2011年度			
		上期		下期	
		4月度	5月度	6月度	7月度
店舗名	ナメ				
広島	A V	集計する対象項目の集計結果			
	季節商品				
名古屋	P C				
	家電				

- 4 表組みの設定が完了したら、[集計を実行]ボタンをクリックします。

▼集計表が実行されて、クロス集計表画面に遷移します。

店舗名 × 年月[年度]		対象データ 全件					
予算額 売上金額 達成率							
店舗名 ↓ 年月[年度] ↓							
		1	2	3	4	5	6
		± 2011年度	± 2012年度	± 2013年度	± 2014年度	± 2015年度	合計
1 広島	予算額(合計)	1454600000	1347509800	1894000000	2269000000	2346200000	9311309800
	売上金額(合計)	1336806065	1356640630	1897182010	2327147740	2398615840	9316392285
	達成率(計算式)	1	1	1	1	1	1
2 名古屋	予算額(合計)	1460000000	1542366150	2077053550	2481000000	2603343960	10163763660
	売上金額(合計)	1439948825	1537209710	2105301760	2557476665	2683551070	10323488030
	達成率(計算式)	1	1	1	1	1	1
3 大阪	予算額(合計)	1484000000	1637000000	2134000000	2471000000	2734000000	10460000000
	売上金額(合計)	1464646100	1686629810	2142730110	2500536005	2753524175	10548066200
	達成率(計算式)	1	1	1	1	1	1
4 東京(本店)	予算額(合計)	2150000000	2442955500	2858000000	3089106830	3233187200	13773249530
	売上金額(合計)	2253774910	2525735335	2934068190	3252970865	3484174870	14450724170
	達成率(計算式)	1	1	1	1	1	1
5 札幌	予算額(合計)	1750500000	1700000000	2023000000	2545000000	2615000000	10633500000
	売上金額(合計)	1849175455	1598173847	2040498220	2575036725	2665055595	10727939842
	達成率(計算式)	1	1	1	1	1	1
6 横浜	予算額(合計)	1369000000	1515000000	2137000000	2521000000	2561000000	10103000000
	売上金額(合計)	1313409290	1487807790	2116055510	2592551600	2662622660	10172446850
	達成率(計算式)	1	1	1	1	1	1
7 合計	予算額(合計)	9668100000	10184831450	13123053550	15376106830	16092731160	64444822990
	売上金額(合計)	9657760645	10192197122	13235835800	15805719600	16647544210	65539057377
	達成率(計算式)	1	1	1	1	1	1



複数階層を指定する際、階層展開表示を有効にするか無効にするかを、実行イメージ表示領域にある「☐ 階層展開表示を有効にする。」のチェックのオン/オフで切り替えできます。

階層展開表示を無効にして集計表を実行すると、行/列項目のデータ名左上の[+]アイコンは表示されなくなります。(項目名をクリックすることでドリルダウン操作は行えます。)

【階層展開表示を有効にした場合】

		1 2011年度			2 2012年度
		売上金額	粗利益	粗利率	売上金額
1	± A V	2,623,456,220	484,971,215	18.5%	3,257,069,030
2	± P C	3,491,560,950	296,006,429	8.5%	3,109,280,682
3	± 家電	1,541,430,525	267,409,390	17.3%	1,814,162,910
4	± オープンレンジ	170,267,300	31,621,070	18.6%	194,588,800
5	± 電子レンジ	27,183,450	5,048,355	18.6%	30,859,500
6	± 冷蔵庫	942,785,140	168,857,040	17.9%	1,117,529,180
7	± ジャー炊飯器	43,505,350	6,215,050	14.3%	47,329,100
8	± シェーバー	24,755,360	3,536,480	14.3%	31,968,440
9	± ハーアレンジ	38,390,065	5,484,295	14.3%	48,030,920
10	± ハードライ	27,188,070	3,884,010	14.3%	31,586,730
11	± アイロン	18,052,650	2,578,950	14.3%	26,193,300
12	± 衣類乾燥機	85,439,740	15,302,640	17.9%	103,919,680

[+]アイコンで展開表示

【階層展開表示を無効にした場合】

2011年度			
	売上金額	粗利益	粗利率
A V	2,623,456,220	484,971,215	18.5%
P C	3,491,560,950	296,006,429	
家電	1,541,430,525	267,409,390	
季節商品	1,001,312,950	428,852,775	

広島		
	売上金額	粗利益
オープンレンジ	23,629,200	4,388,280
電子レンジ	3,996,300	742,170
冷蔵庫	173,024,820	30,989,520
ジャー炊飯器	6,204,100	886,300
シェーバー	3,493,000	499,000
ハーアレンジ	13,828,185	1,975,455
ハードライ	6,142,640	877,520
アイロン	2,788,100	398,300
衣類乾燥機	16,385,520	2,934,720
食器洗い乾燥機	6,126,480	1,097,280

項目名をクリックしてドリルダウン操作

操作の詳細は、C00-03_10「3-1 画面について」の「⑤行項目、列項目表示領域」をご覧ください。

2-2 特殊な画面構成要素

表組み画面でクロス集計表の構成要素を組み立てます。

構成要素一覧

分析項目	文字属性の項目を一覧表示します。【例】店舗名・商品名
	自動日付/自動時間項目: データファイルの日付型/時間型データを基に日付期間項目や時間項目を自動生成して表示します。【例】年度・半期・四半期・時・分・AM/PM ※なお、[表示]-[日付オプションの設定]で表示される[日付オプションの設定]ダイアログボックスの[自動日付/時間項目]タブで、自動日付/時間項目を一覧に表示するかどうか、表示する場合の種類を設定できます。
	期間日付項目: C00-03_5 「◆期間日付の設定」を参照ください。
階層項目	C00-03_6 「◆階層項目の設定」を参照ください。
数値項目	数値属性の項目を一覧表示します。【例】売上金額・数量
計算式	C00-03_7 「◆計算式の追加」を参照ください。

◆ 期間日付の設定

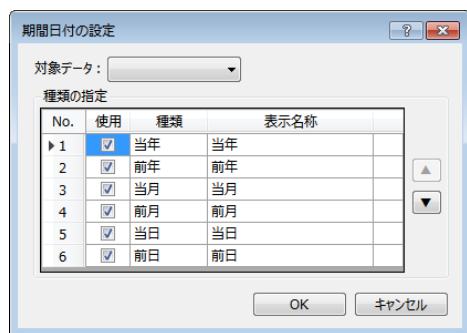
システム日付を基に、当年/当月/当日などの集計期間を<期間日付>として準備します。設定は、クロス集計表画面の表組み画面でのみ行えます。

【例】期間日付を利用した集計表のイメージ

	1	2	3	4	5
	当日	当月	前月	当年	合計
1 広島	13,202,310	218,836,870	183,339,195	2,398,615,840	2,813,994,215
2 名古屋	13,104,760	231,272,100	210,601,300	2,683,551,070	3,138,529,230

- 1 メニューバー[ツール]-[期間日付の設定]をクリックします。

▼[期間日付の設定]ダイアログボックスが表示されます。



- 2 [対象データ:]のドロップダウンリストから、期間日付として利用したい分析項目(日付型)を選択します。
 - 3 [種類の指定]にて、集計表に表示させたい項目の[使用]列のをチェックオンします。[表示名称]で、任意の名称を入力できます。表示させる項目の並び順は、右横の[▲]、[▼]ボタンを利用して変更することができます。
 - 4 [OK]ボタンをクリックします。
- ▼[分析項目]に<期間日付>(名称固定)として表示されます。(この項目はひとつだけ作成できます)

分析項目
年月
店舗名CD
店舗名
コーナー名
分類名
メーカー名
商品名
期間日付

◆ 階層項目の設定

ドリルダウン分析のニーズに合わせて、使用頻度の高い階層構造を定義し、表の構成要素の一つとして登録しておきます。

- ① [階層項目]一覧の[新規登録]ボタンをクリックします。

▼[階層項目の定義]ダイアログボックスが表示されます。

階層項目の定義

項目一覧:

- 年月
- 店舗名CD
- 店舗名
- コーナー名
- 分類名
- メーカー名
- 商品名
- 年月[年度]
- 年月[半期]
- 年月[四半期]
- 年月[月度]

階層名称:

階層定義:

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8

新規 一覧へ反映

階層定義一覧:

No.	階層名称	階層定義

削除 OK キャンセル

- ② [階層名称:]欄に、任意の名称を入力します。

- ③ [項目一覧:]欄から、階層にする項目を選択して、[階層定義:]欄にドラッグ＆ドロップします。[Ctrl]キーや[Shift]キーを押しながら選択すると、複数の項目を同時に選択できます。最大 8 階層まで設定できます。

階層項目の定義

項目一覧:

- 店舗名CD
- 店舗名
- コーナー名
- 分類名
- メーカー名
- 商品名
- 年月[年度]
- 年月[半期]
- 年月[四半期]
- 年月[月度]
- 年月[週(年)]

階層名称: 年階層

階層定義:

- 1 年月[年度]
- 2 年月[半期]
- 3 年月[月度]
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8

新規 一覧へ反映

- ④ [一覧へ反映]ボタンをクリックします。

▼[階層定義一覧:]に内容が表示されます。

階層項目の定義

階層定義一覧:

No.	階層名称	階層定義
1	年階層	年月[年度] >> 年月[半期] >> 年月[月度]

削除 OK キャンセル

- ⑤ [OK]ボタンをクリックします。

▼[階層項目]に設定した階層名称が表示されます。

階層項目

年階層

新規登録...

◆ 計算式の追加

数値項目を四則計算等で計算し、その結果を新しい数値項目として追加します。最大 16 個まで追加できます。

① [計算式]一覧の[新規登録]ボタンをクリックします。

▼[計算式の追加]ダイアログボックスが表示されます。

計算式の追加

計算式一覧:

No.	表示名称	計算式
1		
2		
3		
4		
5		
6		

数値項目(記号:名称):

N1:数量
N2:売上金額
N3:粗利益
N4:予算額
N7:件数
N8:行セル数
N9:列セル数

() 7 8 9 /
4 5 6 *
1 2 3 -
関数挿入 0 . +

計算例
売上金額の5%を整数以下切り捨てた値を求める計算式
> TRUNC([売上金額]*0.05,0)

※数値項目は、記号または名称を[]で囲んで指定

OK キャンセル

② [表示名称]欄に、任意の名称を入力します。

③ [計算式]欄に、計算式を入力します。

数値項目(記号:名称):

N1:数量
N2:売上金額
N3:粗利益
N4:予算額
N7:件数
N8:行セル数
N9:列セル数

() 7 8 9 /
4 5 6 *
1 2 3 -
関数挿入 0 . +

計算例
売上金額の5%を整数以下切り捨てた値を求める計算式
> TRUNC([売上金額]*0.05,0)

- 計算式に利用できる数値項目(記号や項目名称)
 - 優先演算子(括弧)
 - 組み込み関数
 - テンキー(数字)
 - 四則演算子
- これらを利用して計算式を設定します。

▼[計算式]欄に計算式が表示されます。

計算式の追加

計算式一覧:

No.	表示名称	計算式
1	達成率	[売上金額]/[予算額]
2		
3		
4		
5		
6		

数値項目(記号:名称):

N1:数量
N2:売上金額
N3:粗利益
N4:予算額
N7:件数
N8:行セル数
N9:列セル数

() 7 8 9 /
4 5 6 *
1 2 3 -
関数挿入 0 . +

計算例
売上金額の5%を整数以下切り捨てた値を求める計算式
> TRUNC([売上金額]*0.05,0)

※数値項目は、記号または名称を[]で囲んで指定

OK キャンセル

④ [OK]ボタンをクリックします。

▼[計算式]に設定した表示名称が表示されます。

計算式

達成率

新規登録...



[計算式の追加]は集計表画面でも設定できます。但し、集計表画面で追加した計算式は、集計表に表示する操作が必要です。(メニューバー[表示]-[集計数値の表示設定])

2-3 予測値設定画面

年度単位の実績データから、当年度(システム日付の年度)、または翌年度の予測値を計算します。



設定時には、直近の過去 3 年(最大 5 年)の実績データが必要です。

予測値を表示する機能のため、この表示画面はテンプレートとして登録はできません。

- ① メニューバー[ツール]-[予測]をクリックします。(予測値設定画面の呼び出しはここからのみです。)

▼予測値設定画面が表示されます。



[日付項目]一覧に表示される項目は、自動日付項目で[年度]、または[年度]と[月度]の両方が揃っている日付データが対象となります。

- ② [分析項目]、[日付項目]、[数値項目]一覧から、配置する項目をそれぞれ[予測対象とする項目]、[日付項目]、[予測値の数値項目]欄に、ドラッグ & ドロップします。[分析項目]は、3 階層まで配置できます。

- ③ [予測対象年度]は、[当年度]か[翌年度]のどちらかを指定します。ここでは[当年度]を指定します。

▼予想対象の設定が表示されます。

- ④ <<予測実行の流れ>>の[年度予測の計算]ボタンをクリックします。

▼年度予測の計算結果が表示されます。

三 予測対象とする項目

1 店舗名

2

3

三 日付項目

1 年月

三 予測値の数値項目

1 売上金額

予測対象年度

☒ 当年度 ☐ 翌年度

<<<予測実行の流れ>>>

年度予測の計算

▼

予測値を月度へ配分

▼

CSVファイルへ出力

設定へ戻る 表組みへ戻る

		1	2	3	4	5	6
		2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	予測値	補正比率
1	広島	1,336,806,065	1,356,640,630	1,897,182,010	2,327,147,740	2,528,292,624	19.70%
2	名古屋	1,439,948,825	1,537,209,710	2,105,301,760	2,557,476,665	2,782,752,273	19.36%
3	大阪	1,464,646,100	1,686,629,810	2,142,730,110	2,500,536,005	2,707,760,010	16.63%
4	東京（本店）	2,253,774,910	2,525,735,335	2,934,068,190	3,252,970,865	3,450,627,327	11.54%
5	札幌	1,849,175,455	1,598,173,847	2,040,498,220	2,575,036,725	2,652,962,994	14.96%
6	横浜	1,313,409,290	1,487,807,790	2,116,055,510	2,592,551,600	2,858,958,172	21.44%
7	合計	9,657,760,645	10,192,197,122	13,235,835,800	15,805,719,600	16,981,353,400	16.95%

5 セルの背景色が黄色部分の[予測値]と[補正比率]は、直接入力が可能です。



表示される[予測値]、[補正比率]の算出方法はヘルプの＜メモ＞覧を参照してください。



表示された年度の予測値を各月度へ配分して表示することができます。また、最終的な予測値データを CSV ファイルへ出力することもできます。

【予測値を月度へ配分】ボタン

[予測値の数値項目]で指定した日付項目が[月度]を持っている場合に利用できます。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
1 広島	216,650,706	210,002,039	224,203,376	210,537,313	211,103,542	192	2,528,292...	19.70%						
2 名古屋	251,486,190	226,512,353	258,348,552	229,717,651	229,289,983	194	2,782,752...	19.36%						
3 大阪	246,571,188	218,523,926	253,358,979	213,055,459	217,496,483	204	2,707,760...	16.63%						
4 東京（本店）	304,145,250	293,355,809	314,035,260	265,686,127	289,879,785	254	3,450,627...	11.54%						
5 札幌	250,484,630	210,331,847	247,155,676	203,004,435	217,571,560	180	2,652,962...	14.96%						
6 横浜	231,163,192	214,835,161	266,407,180	217,803,968	237,581,295	218	2,858,958...	21.44%						
7 合計	1,520,501,...	1,373,561,...	1,563,509,...	1,339,804,...	1,402,922,...	1,24	16,981,353...	16.95%						

【CSV ファイルへの出力】ボタン

表示中の予測値データを CSV ファイルに出力します。

このファイルを追加読み込みさせて、集計表で利用することもできます。

予測値のファイル出力

出力ファイル:

出力先の項目:

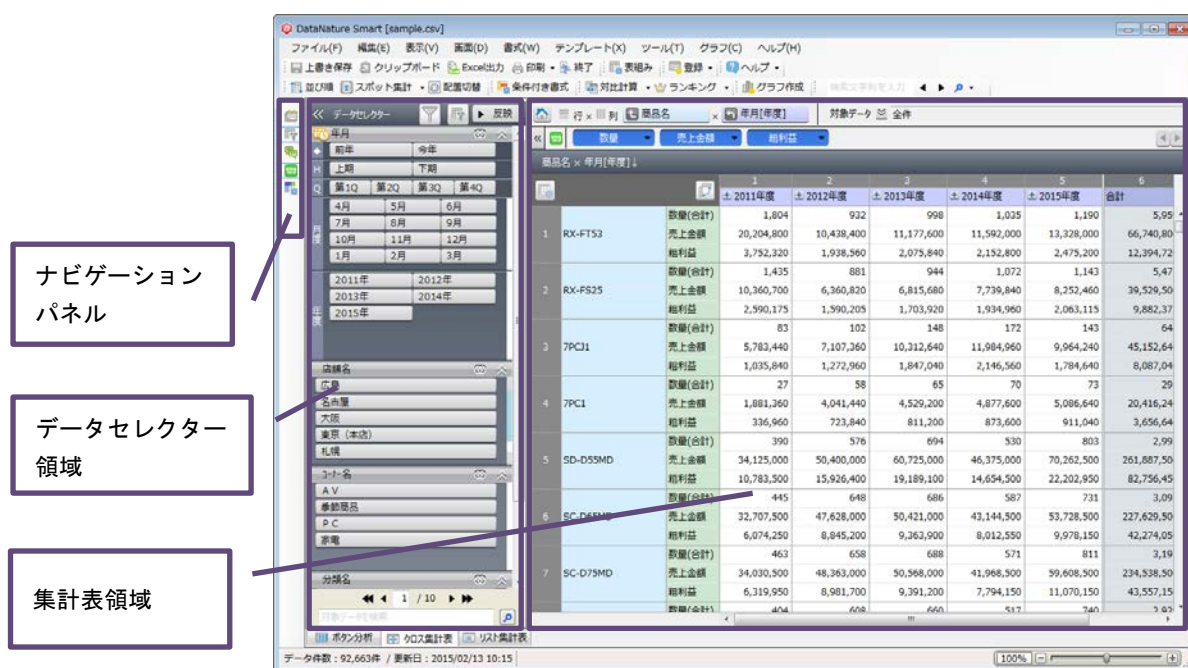
OK キャンセル

出力ファイル: 保存先フォルダーとファイル名を指定します。

出力先の項目: 作成した予測値データを既存の項目データに追加するか、新規項目として追加するかを選択します。

6 予測値の確認が完了すれば、[表組みへ戻る]ボタンをクリックします。
(予測値設定画面の終了はこの方法のみです。)

3. クロス集計表画面



クロス集計表画面は、次の要素で構成されています。

ナビゲーションパネル

画面操作をサポートする機能アイコンが並んでいます。クロス集計画面の集計表では、「テンプレート一覧」「データセクター」「コメント」「集計数値の表示設定」「デザイン設定」を利用できます。

データセクター領域

集計表の集計対象データを絞り込むための簡易ボタン画面を設定し、選択したボタンで再集計を行います。また、条件式を設定し、集計表の対象レコードを絞り込むことができます。

集計表領域

クロス集計表を表示します。

3-1 画面について

1: 構成表示領域 (構成表示領域)
 2: 対象データ表示領域 (対象データ表示領域)
 3: 集計数値表示領域 (集計数値表示領域)
 4: 表題領域/単位表示領域 (表題領域/単位表示領域)
 5: 行項目、列項目表示領域 (行項目、列項目表示領域)
 6: 集計項目表示領域 (集計項目表示領域)
 7: 集計値表示領域、合計欄 (集計値表示領域、合計欄)

		4月度	5月度	6月度	7月度	8月度	9月度	合計
1	広島	185,000,000	215,000,000	240,000,000	150,000,000	225,000,000	180,000,000	1,195,000,000
	売上金額	183,339,195	218,836,870	248,880,350	151,787,915	231,876,710	184,813,240	1,219,534,280
	達成率	99.1%	101.8%	103.7%	101.2%	103.1%	102.7%	
2	名古屋	205,000,000	225,000,000	263,624,880	159,719,080	235,000,000	185,000,000	1,270,343,960
	売上金額	210,601,300	231,272,100	270,540,000	165,366,520	242,678,950	195,787,020	1,316,245,890
	達成率	102.7%	102.8%	102.6%	103.5%	103.3%	105.8%	103.4%
3	大阪	233,000,000	233,000,000	285,000,000	175,000,000	243,000,000	203,000,000	1,349,000,000
	売上金額	237,137,360	237,137,360	292,060,825	172,682,430	247,630,480	205,118,205	1,364,924,915
	達成率	102.2%	101.8%	102.5%	98.7%	101.9%	101.0%	101.2%
4	合計	255,000,000	285,000,000	333,187,200	235,000,000	305,000,000	245,000,000	1,658,187,200

①構成表示領域

クロス集計表の行/列の項目名称⑤を表示します。階層付きクロス集計表では、ドロップダウンリストで階層項目を表示し、ドリルアップ操作することもできます。

②対象データ表示領域

集計対象データを表示します。情報が多い場合は ≡ ボタンをクリックすることで表示領域が広がります。

③集計数値表示領域

集計項目表示領域⑥に表示される数値項目をボタンで表示します。選択時(青色)は集計表に表示され、解除時(薄緑色)は集計表から表示が消えます。数値項目の[▼]ドロップダウンリストから、集計方法を追加・変更できます。[詳細設定]をクリックして、その他の集計方法を指定することもできます。

	4月度	5月度	6月度	7月度
1 広島	183,339,195	218,836,870	248,880,350	151,787,915
2 名古屋	210,601,300	231,272,100	270,540,000	165,366,520
3 大阪	210,295,615	237,137,360	292,060,825	172,682,430
4 東京(本店)	260,074,140	291,731,850	348,438,240	237,707,100
5 札幌	183,073,285	241,878,770	249,364,935	171,757,800
6 横浜	164,485,830	219,489,250	264,417,865	177,754,195
7 合計	1,211,869,365	1,440,346,200	1,673,702,215	1,077,055,960

	4月度
1 広島	183,339,195
2 名古屋	210,601,300

この領域③に表示されていない数値項目を追加する場合は、左側の[123]アイコンをクリックし、[集計数値の表示設定]ダイアログボックスで、「表示する対象データ」を設定します。

左端の[<<]ボタンをクリックすると、この領域③を非表示にします。再表示する場合は、ナビゲーションパネルにある[123]アイコンをクリックします。

④表題領域/単位表示領域

表題が表示されます。この領域④で右クリックして表示される[表題の設定]ダイアログボックスで任意の表題を設定できます(メニューバー[書式]-[表題の設定])。<今月><今日>といった定義をおこなうと、システム日付から該当日付に変換して表題に表示できます。数値項目の単位調整を行っている場合は、右端に単位が表示されます。

店名 ↓ × 年月[年度] ↓	表題の設定...	単位: [千]
1 広島		
2 名古屋		

⑤行項目、列項目表示領域

行項目(水色)と列項目(薄紫色)を表示します。

階層付きの集計表で階層展開表示が有効な場合は、行/列項目のデータ名左上の[+]アイコンをクリックすると階層が1項目ずつ展開され、[-]アイコンをクリックすると階層が1項目ずつ折りたたまれます。

右クリックして表示されるコンテキストメニューから「一括展開」や「一括折りたたみ」(最大3階層まで)が行えます。また、[データの並び順]から行や列項目データの並び順を変更できます。(階層展開表示が無効の場合は、項目名をクリックすることでドリルダウン操作が行えます。また「一括展開」や「一括折りたたみ」は利用できません。)

 [表組み]アイコンをクリックすると、表組み画面に遷移します。

 [行列切替]アイコンをクリックすると、行/列項目を入れ替えます。

			1	2
			± 2011年度	± 2012年度
1	広島	予算額	741,600	610,000
		売上金額	665,902	623,614
2	名古屋	予算額	705,000	710,406
		売上金額	718,098	703,367
3	RX-FT53	予算額		1,142
4	RX-FS25			744
5	7PCJ1			627
6	7PC1			139
7	SD-D55MD			5,163
		売上金額	2,975	5,163

⑥集計項目表示領域

数値項目と集計方法を組み合わせた“集計項目”(緑色)を表示します。例えば、売上金額の合計だけを集計するような数値項目と集計方法がひとつずつの場合はこの領域⑥が表示されません。

右クリックして表示されるコンテキストメニュー[集計項目の並び順]から“集計項目”の並び順を変更できます。また、[書式設定]-[数値の表示書式]から、集計項目の集計結果を表示する際の書式を設定できます。

 ツールバーの[配置切替]アイコンをクリックする毎に、“集計項目”を縦並びから横並びに、集計方法が複数の場合は数値項目と集計方法を分離して表示するように配置を切り替えることができます。

		± 2015年度	
		合計	集計
± 広島	予算額	1,195,000	1,195,000
	売上金額	1,219,534	1,219,534

	± 2015年度			
	予算額(合計)	売上金額(合計)	予算額(集計)	売上金額(集計)
± 広島	1,195,000	1,219,534	1,195,000	1,219,534
± 名古屋	1,273,344	1,316,246	1,273,344	1,316,246

		± 2015年度
± 広島	予算額(合計)	1,195,000
	売上金額(合計)	1,219,534
	予算額(集計)	1,195,000
	売上金額(集計)	1,219,534

	± 2015年度	
± 広島	合計	1,195,000 1,219,534
	集計	1,195,000 1,219,534

また、右クリックして表示されるコンテキストメニュー[書式設定]-[文字の表示書式]から、領域⑤(行/列項目)と領域⑥(集計項目)のフォントなどの書式を設定できます。

⑦集計値表示領域、合計欄

集計値と行列の合計を表示します。

右クリックして表示されるコンテキストメニューから[合計欄の固定表示/固定表示解除]、[列合計の表示/非表示]、[行合計の表示/非表示]が行えます。

固定表示したい集計値セルで、[ウィンドウ枠の固定]をクリックすると、そのセルを起点に上側と左側を固定表示します。

[条件付き書式の設定]では、設定した条件に該当するセルを指定した書式で強調表示します。設定方法は、C00-03_20「◆条件付き書式」を参照ください。

[データリスト表示]では表示中の集計表を構成しているレコードを表示できます。また、[ソースビュー表示]ではメニュー実行時に対象となっていたセルに関連付くレコード情報を100件までポップアップ表示します。更に、ソースビューの対象データ全件をCSVファイルへ出力し、そのままDNクライアントで開くことも可能です。

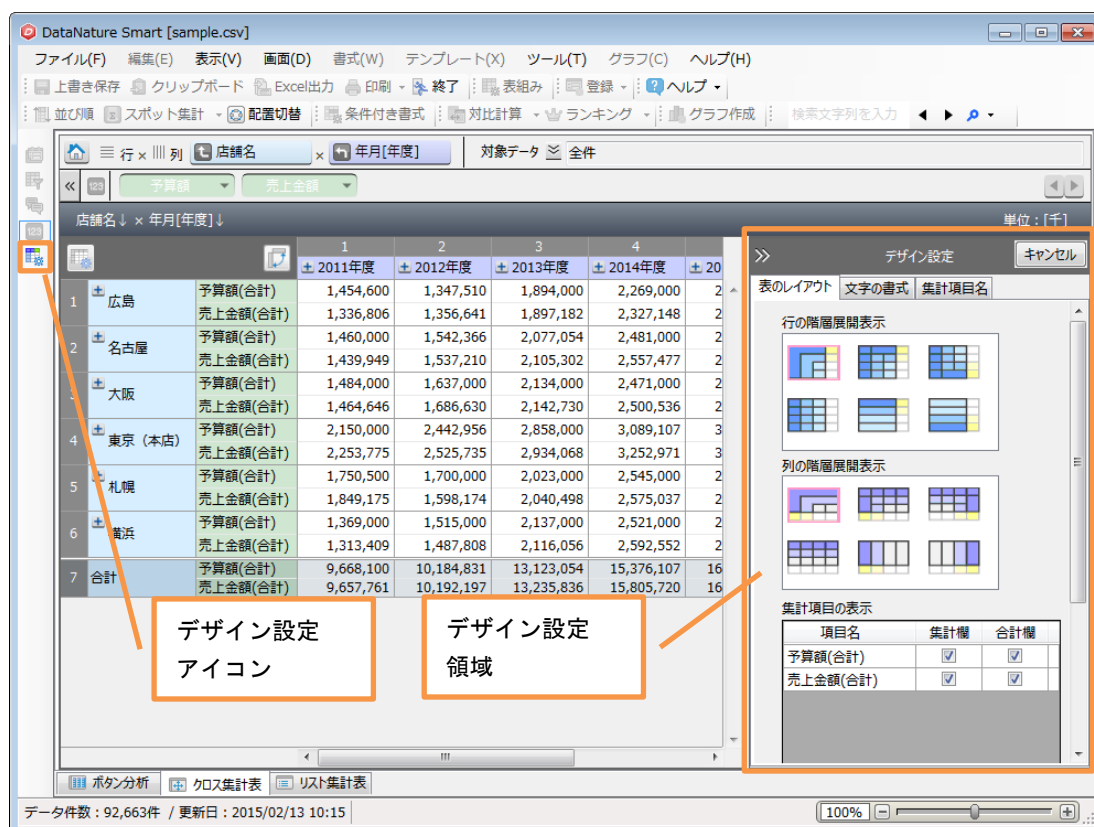
		1	2	3	4	
		± 2013年度	± 2014年度	± 2015年度	合計	
1	広島	予算額(合計)	1,036,000	1,121,000	1,195,000	3,352,000
		売上金額(合計)	1,038,904	1,148,580	1,219,534	3,407,018
2	名古屋	予算額(合計)	1,146,054	1,218,000	1,273,344	3,637,398
		売上金額(合計)			16,246	3,729,157
3	大阪	予算額(合計)			49,000	3,738,000
		売上金額(合計)			64,925	3,786,601
4	東京(本店)	予算額(合計)			58,187	4,772,294
		売上金額(合計)			90,382	4,901,409
5	札幌	予算額(合計)			65,000	3,588,000
		売上金額(合計)			97,597	3,656,594
6	横浜	予算額(合計)	1,158,000	1,183,000	1,235,000	3,576,000
		売上金額(合計)	1,142,970	1,219,123	1,260,854	3,622,947
7	合計	予算額(合計)	7,217,054	7,471,107	7,975,531	22,663,692
		売上金額(合計)	7,294,384	7,659,803	8,149,538	23,103,725

集計表の「デザイン設定」について

メニューバー[表示]-[デザイン設定](または、ナビゲーションパネルの[デザイン設定]アイコン)をクリックすると、集計表のデザイン設定を行う領域が、画面右側に表示されます。クロス集計表のレイアウトや書式に関連する情報を、タブを切り替えて設定します。

なお、設定した内容を初期値に戻す場合は、各タブの下方にある[初期値に戻す]ボタンをクリックし、設定をやめる場合は、デザイン設定領域右上にある[キャンセル]ボタンをクリックします。

各設定を確定する場合は、デザイン設定領域左上にある[>>]ボタン、または、ナビゲーションパネルの[デザイン設定]アイコンをクリックします。



[表のレイアウト]タブ

行/列の階層展開の表示方法や合計欄の表示等を設定します。

行の階層展開表示/列の階層展開表示 : 階層を展開表示する際の表示パターンを 6 種類(標準/親階層を小計として前に表示/親階層を小計として後ろに表示/親階層集計値を隠す/親階層を前に配置(親子並列)/親階層を後ろに配置(親子並列))から選択します。選択したパターンは、ピンク色の枠で表示されます。

集計項目の表示 : 集計項目が複数ある場合、集計欄と合計欄で表示/非表示をそれぞれ設定できます。表示したい項目をチェックオンしてください。

行の合計欄表示/列の合計欄表示 : 行/列の合計欄の表示について、3種類(表示/非表示/常に表示)から選択します。

列幅の自動調整 : 列幅を、その列で一番長い文字列に合わせて自動調整するかどうかを ON/OFF で指定します。

行合計の配置/列合計の配置 : 行/列の合計欄の表示位置を 2 種類(末尾に配置/先頭に配置)から選択します。

[文字の書式]タブ

集計表のフォントや背景色などを設定します。対象となる領域は行項目/列項目/集計項目/集計値で、各領域に合わせて、フォント/サイズ/背景色/横配置/縦配置/文字の制御/合計行背景色が設定できます。

[集計項目名]タブ

集計項目や合計欄に表示する名称を設定します。

集計項目一覧 : 集計項目の名称を設定します。表示名称欄に、表示したい内容を入力します。

行の合計欄名称/列の合計欄名称 : 行/列の合計欄(小計/合計)の名称を設定します。合計名称欄に、表示したい内容を入力します。空欄にした場合は「合計」と表示されます。また、引用欄をチェックオンすると、合計名称の前に、対象となるデータの名称を付与して表示されます。なお、総合計の「引用」は使用できません。

[対比計算]タブ

対比計算実行中に表示されます。対比表の集計項目名や配置切替の設定を行います。

対比対象名に固定名称を使用する : 「固定名称」欄に入力した名称を対比対象名として使用します。

対比対象名に集計項目名を使用する : 対比対象名の前に、「売上金額(合計)」などの集計項目名を付与します。なお、「集計項目との区切り文字」欄に入力した文字を、集計項目名と対比対象名の区切り文字として使用できます。空欄の場合は、「:」が使用されます。

対比表専用の配置へ切り替える : [配置切替]アイコンをクリックして集計欄の配置を切り替える際、数値項目と集計方法を行列に分けて配置するパターンが選択できるようになります。

3-2 主な機能

クロス集計表画面で行える主な機能について紹介します。

デーセクター	集計対象データを絞り込むための簡易ボタン画面を設定し、選択したボタンで再集計します。また、条件式を設定し、集計表の対象レコードを絞り込むことができます。
条件集約	任意の条件に一致するデータを集約して表示します。
対比計算	データの対比が行えるように差異や比率を計算して表示します。
条件付き書式	設定した条件に該当するセルを、指定した書式で強調表示します。
ランキング	集計結果(集計値)を昇順または降順で並べたときの順位を、新たな数値項目列として表示します。
参照項目設定	参照項目と分析項目を組み合わせて、同一セル内に複数の項目名を表示します。
印刷/出力	集計表を印刷、または、他のアプリケーションのファイルとして出力します。

◆ データセクター

集計対象のデータを絞り込むための簡易ボタン画面や条件式を設定します。注目したいデータだけを絞り込み、再集計できます。

①  ナビゲーションパネルにある[データセクター]アイコンをクリックします。

▼データセクター表示領域が表示されます。(再度、[データセクター]アイコンや<<>ボタンをクリックするとデータセクターを閉じることができます)



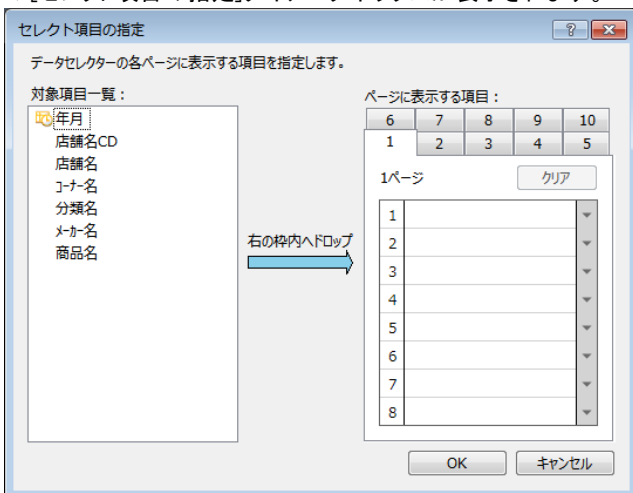
店舗名 ↓ × 年月[年度] ↓	1	2	3	4
	± 2013年度	± 2014年度	± 2015年度	合計
1 ± 広島	1,038,904	1,148,580	1,219,534	3,407,018
2 ± 名古屋	1,156,482	1,256,430	1,316,246	3,729,157
3 ± 大阪	1,203,779	1,217,896	1,364,925	3,786,601
4 ± 東京(本店)	1,627,998	1,583,028	1,690,382	4,901,409
5 ± 札幌	1,124,251	1,234,747	1,297,597	3,656,594
6 ± 横浜	1,142,970	1,219,123	1,260,854	3,622,947
7 合計	7,294,384	7,659,803	8,149,538	23,103,725

2



データを絞り込むための対象とする項目列を設定するには、表示領域の上部にある[セレクト項目の指定]アイコンをクリックします。

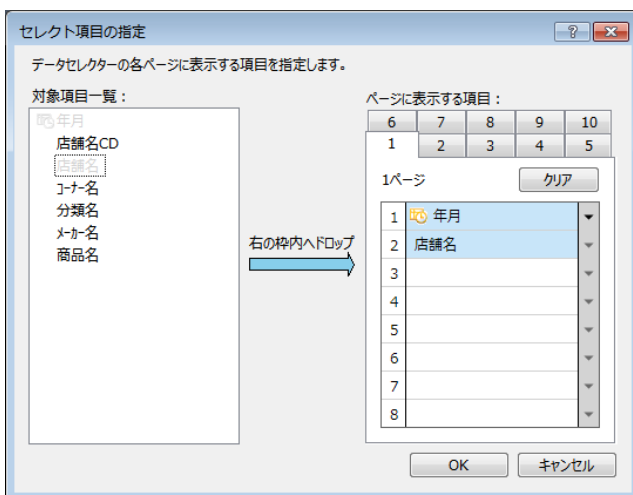
▼[セレクト項目の指定]ダイアログボックスが表示されます。



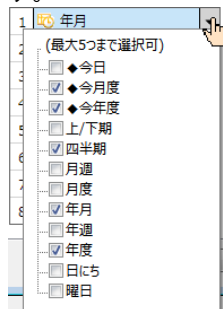
3

[対象項目一覧:]から、データの絞り込みに利用したい項目列を、[ページに表示する項目:]の枠内にドラッグ&ドロップで移動します。

▼指定した項目が[ページに表示する項目:]に移動します。



がついている日付/時間項目は、右端の[▼]ドロップダウンリストから、期間項目(今月度、上下期、曜日など)や時間の項目(AM/PM、時など)を追加できます。

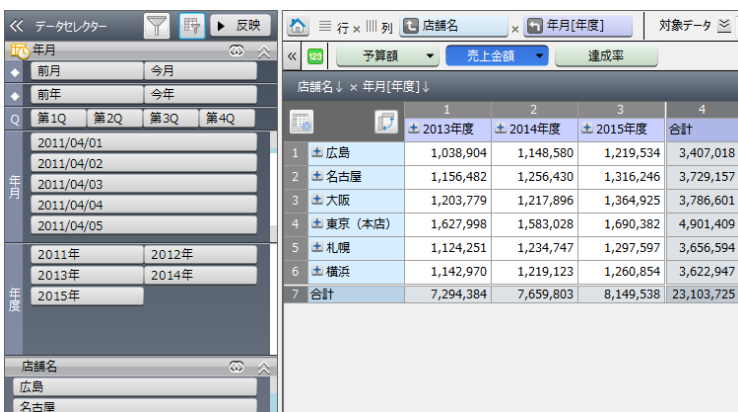


[ページに表示する項目:]には1～10までのページタブがあり、タブを切り替えて設定が行えます。1ページに8項目、最大80項目(10ページ×8項目)まで設定できます。

4

設定後、[OK]ボタンをクリックします。

▼データセレクト表示領域にセレクト項目が表示されます。



- 5 絞り込みたいデータ(ボタン)を選択します。[Ctrl]キーや[Shift]キーを押しながら選択すると、複数のボタンを同時に選択できます。 ※日付/時間型項目のデータは、[Shift]キーを利用した複数選択はできません。

店名	2013年度	2014年度	2015年度	合計
広島	1,038,904	1,148,580	1,219,534	3,407,018
名古屋	1,156,482	1,256,430	1,316,246	3,729,157
大阪	1,203,779	1,217,896	1,364,925	3,786,601
東京 (本店)	1,627,998	1,583,028	1,690,382	4,901,409
札幌	1,124,251	1,234,747	1,297,597	3,656,594
横浜	1,142,970	1,219,123	1,260,854	3,622,947
合計	7,294,384	7,659,803	8,149,538	23,103,725

- 6 [反映]ボタンをクリックします。
▼絞り込んだデータを対象に、再度集計処理が実行されます。

店名	2015年度	合計
広島	651,056	651,056
東京 (本店)	900,244	900,244
合計	1,551,301	1,551,301

標準モード ⇄ 排他モード

“排他”モードにすると、選択したデータ(ボタン)を除外して再集計します。

店名	2015年度	合計
広島	651,056	651,056
東京 (本店)	900,244	900,244
合計	1,551,301	1,551,301



データセレクター領域上部にある[レコード条件の設定]アイコンをクリックすると、[レコード条件の設定]ダイアログボックスが表示され、集計表の対象レコードを条件式で絞り込むことができます。

▼[レコード条件の設定]ダイアログボックス

レコード条件の設定

☒ 条件にヒットするレコードを抽出

条件式:

数値項目(記号:名称):

日付項目(記号:名称):

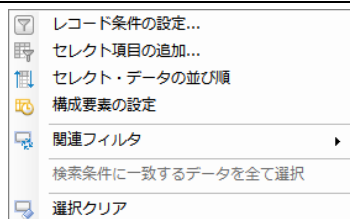
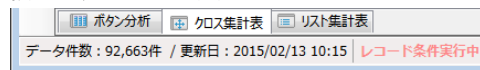
D1: 年月

OK キャンセル

「☐条件にヒットするレコードを抽出」をチェックオンすると、条件式が入力できるようになります。

条件式は、数値項目/日付項目/テンキー(各種演算子や定数等)を用いて設定します。

条件式設定後、[OK]ボタンをクリックすると、集計結果が条件に従って絞り込まれます。なお、レコード条件が実行されているときは、画面の左下に「レコード条件実行中」と赤字で表示されます。条件内容は、対象データ領域に表示されます。



データセレクト表示領域内で右クリックするとコンテキストメニューが表示されます。

- レコード条件の設定
- セレクト項目の追加
- セレクト・データの並び順
- 構成要素の設定
- 関連フィルタ
- 検索条件に一致するデータを全て選択
- 選択クリア

[レコード条件の設定]ダイアログボックスを表示します。

[セレクト項目の指定]ダイアログボックスを表示します。

セレクト項目ごとに表示の並び順を設定できます。

日付/時間型項目から追加セレクト項目を設定できます。手順③右欄と同様の設定です。

ボタン選択したときの関連フィルタの動作([関連なし]または[絞り込み])を設定します。

セレクト項目内の検索をしている場合に、検索結果に該当するデータボタンを、メニューを実行した項目内で一括選択します。(日付や時間の項目は除きます。)

選択中のボタンを全て解除します。



ボタン分析画面でデータボタンを選択してクロス集計表を作成した場合は、選択したデータボタンの項目をそのままデータセレクト表示領域に再現して表示します。なお、関連モード(関連なし/絞り込み)と選択モード(標準/排他)もボタン分析画面から継承されます。

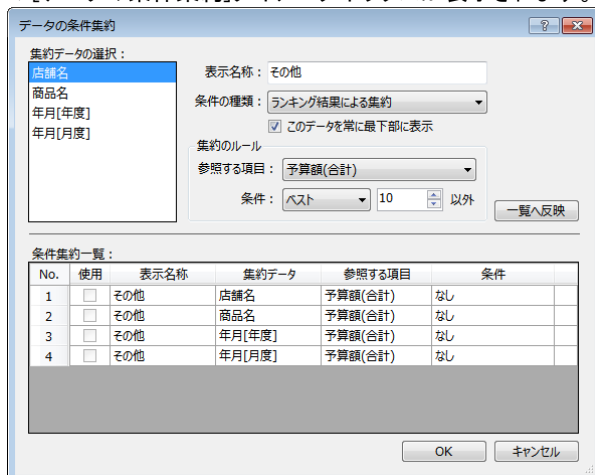
◆ 条件集約

任意の条件に一致するデータを集約します。例えば、集計された数値データ項目のランキング結果に対してベスト10以外の項目をまとめて表示することができます。



[条件集約]アイコンをクリックします。
(メニューバー[ツール]-[データの条件集約])

▼[データの条件集約]ダイアログボックスが表示されます。



② [集計データの選択:]欄から、条件集約させたい分析項目列を選択します。

③ 続いて、集約条件の種類やルールを指定します。

■表示名称:

条件集約されたデータ項目の名称を入力します。

■条件の種類:

条件の種類(ランキング結果による集約/数値条件による集約)をプルダウンリストから選択します。

また「☐このデータを常に最下部に表示」をチェックオンすると、条件集約されたデータは最下部に表示されます。

■集約のルール

集約のルール(数値データ項目/集計方法/集約条件)を指定します。

④ 設定後、[一覧へ反映]ボタンをクリックします。

▼[条件集約一覧:]欄に設定内容が表示されます。

条件集約一覧:

No.	使用	表示名称	集約データ	参照する項目	条件
1	☐	その他	店舗名	予算額(合計)	なし
2	☒	その他	商品名	売上金額(合計)	ベスト 10以外

⑤ 表示を確認したら、[OK]ボタンをクリックします。

▼設定した条件に該当するデータがまとめられます。

		3	4	5	6
		± 2013年度	± 2014年度	± 2015年度	合計
1	広島	1,897,182	2,327,148	2,398,616	9,316,392
2	AP-N250/4G	70,308	86,751	115,952	394,916
3	AP-MMX166/S15T	59,103	87,759	84,177	353,723
4	AP-MMX150/15M	76,884	61,016	56,769	308,207
5	CS-K40K2	32,928	32,144	47,824	206,192
6	CS-G50K2	34,216	39,480	45,731	178,318
7	その他	1,623,743	2,019,998	2,048,163	7,875,038
8	名古屋	2,105,302	2,557,477	2,683,551	10,323,488
9	AP-N250/4G	49,329	55,283	67,757	247,212
10	CTP 233YB7	39,104	41,193	41,193	220,890
11	AP-MMX166/S15T	38,805	43,880	47,760	198,204
12	CS-G50K2	34,874	50,666	42,770	191,149
13	CS-K40K2	38,612	38,808	58,016	188,944
14	その他	1,904,578	2,327,648	2,426,056	9,277,089



「ランキング結果による集約」を行う場合、メッセージが表示されます。[はい]をクリックすると、自動的にランキング結果(数値データ順)に合わせてデータを並び替えて表示します。

データの条件集約

ランキング結果による集約の設定をボタンの並び順にも反映しますか?

◆ 対比計算

表示中の集計表を基に、指定した対比方法で差異や比率等を計算して表示します。対比計算の設定は、設定ダイアログボックスと対比計算専用のデータセクターを組み合わせで行います。

① [対比計算]アイコンをクリックします。

(メニューバー[ツール]-[対比計算]-[設定])

▼[対比計算の設定]ダイアログボックスが表示されます。

対比計算の設定

対比方法: 対比方法の出カイメージは、ヘルプを参照してください。

対象データ

- 年月
- 店舗名CD
- 店舗名
- コーナー名
- 分類名
- メーカー名
- 商品名
- 年月[年度]
- 年月[半期]
- 年月[四半期]
- 年月[月度]

集計項目一覧

No.	集計項目	基準値	対照値	差異	対比率	増減率
1	売上金額(合計)	☒	☒	☐	☒	☐
2	数量(合計)	☒	☒	☐	☒	☐
3	粗利益(合計)	☒	☒	☐	☒	☐

並び順設定...

比率の書式

有効桁数: 小数点以下 桁

マイナス表示:

☐ 対比で「今月」が指定された場合は、前月までを集計範囲とする

- ② [対比方法:]の[▼]ドロップダウンリストから、対比方法を選択します。

対比方法	対比対象	データセクターで指定するボタン	対比されるデータ
二項目対比	同一項目内の任意の2データ	任意の2データ	指定データのレコード、自動日付列、自動時間列
対前年(*別)	前年度と今年度	今年度の年	年度のレコード
対前月(*別)	前年度と今年度	今年度の月	月度のレコード
前年同月比(単月)	前年度と今年度	今年度の年と月度	月度のレコード
前年同月比(当月)		今年度の年と月日	指定した月日のレコード
前年同月比(累計)		今年度の年と月度	年度開始月から指定月までのレコード
前年同月比(累計)		今年度の年と月日	年度開始日から指定日までのレコード

- ③ [対象データ]欄から、対比計算の対象にする項目をひとつ選択します。

- ④ [集計項目一覧]の集計項目毎に、基準値・対照値・差異・対比率・増減率を表示するかどうか、指定します。表示する場合は、チェックオンします。

No.	集計項目	基準値	対照値	差異	対比率	増減率
1	売上金額(合計)	☒	☒	☐	☒	☐
2	数量(合計)	☒	☒	☐	☒	☐
3	粗利益(合計)	☒	☒	☐	☒	☐

- 差異 : 対照値-基準値
- 対比率: 対照値÷基準値
- 増減率: 差異÷基準値



[並び順設定]ボタンをクリックし、[並び順設定]ダイアログボックスで、集計項目の並び順を変更できます。

- ⑤ 必要に応じて、対比率・増減率に適用される[比率の書式]を設定します。

比率の書式

有効桁数: 小数点以下 桁

マイナス表示:

- 有効桁数: 小数点以下 1 桁～5 桁を選択します。集計表に“%”が表示されます。
- マイナス表示: 計算結果がマイナスの場合の書式を選択します。



基準値・対照値・差異の書式は、集計項目表示領域で右クリックして表示されるコンテキストメニューの[書式設定]-[数値の表示書式]、またはデザイン設定領域で変更できます。

- ⑥ 対比対象に月日を含む場合で「今月」が指定された場合に、今月を集計範囲に含めるかどうか、指定できます。今月を含まない場合は、「□対比で「今月」が指定された場合は、前月までを集計範囲とする」をチェックオンします。

- ⑦ [対比計算を実行]ボタンをクリックします。

▼「データセクターで対比させる対象データを選択してください。」のメッセージが表示されます。そのまま[OK]ボタンをクリックします。

<< データセクター
<< 対前年 (月別)
前年
2011年
2012年
2013年
2014年
2015年
今年

行 × 列
店名
売上金額
数量
粗利益

対比データ ≡ 全件

店名 × 年月[月度]	1	2	3	4	5
	4月度	5月度	6月度	7月度	8月度
794,316	903,591	680,098	801,899		
8,409	9,374	7,703	8,410		
129,228	141,888	108,900	127,165		
31,469	43,659	31,752	41,675		
111	154	112	147		
2,098	2,911	2,117	2,778		
30,149	44,477	19,701	45,074		
101	149	66	151		
粗利益(合計):**	1,015	2,010	2,965	1,313	3,005

クロス集計表
データセクターで対比させる対象データを選択してください。
OK

- ⑧ データセレクトターから、対象データを指定して、[反映]ボタンをクリックします。
- ◆二項目対比の場合：対象データの選択順で基準値→対照値の指定となります。
 - ◆二項目対比以外の場合：対照値となる対象データのみ指定します。
- ▼対比計算の集計表が実行されます。

データセレクトター		行 × 列	店舗名	年月[月度]	対象データ	対照データ 全件						
対前年 (月別)		売上金額		数量	粗利益							
前年		2011年		2012年	2013年	2014年	2015年					
2015年												
年度		店舗名 ↓ 年月[月度]		1	2	3	4	5	6	7		
				4月度	5月度	6月度	7月度	8月度	9月度	10月度		
1	広島	売上金額(合計):2014年度		181,397	195,394	228,256	164,218	199,289	180,027	233,952		
		売上金額(合計):2015年度		183,339	218,837	248,880	151,788	231,877	184,813	257,938		
		売上金額(合計):対比率		101.1%	112.0%	109.0%	92.4%	116.4%	102.7%	110.3%		
		数量(合計):2014年度		2,067	2,115	2,344	1,806	2,163	1,952	2,447		
		数量(合計):2015年度		2,020	2,207	2,467	1,751	2,277	2,016	2,532		
		数量(合計):対比率		97.7%	104.3%	105.2%	97.0%	105.3%	103.3%	103.5%		
		粗利益(合計):2014年度		29,875	31,837	35,943	25,864	32,405	29,086	38,102		
		粗利益(合計):2015年度		30,912	36,335	38,749	24,014	36,938	30,496	42,217		
2	名古屋	粗利益(合計):対比率		103.5%	114.1%	107.8%	92.8%	114.0%	104.8%	110.8%		
		売上金額(合計):2014年度		200,645	216,517	255,494	169,068	225,879	188,826	259,129		
		売上金額(合計):2015年度		210,601	231,272	270,540	165,367	242,679	195,787	271,514		
		売上金額(合計):対比率		105.0%	106.8%	105.9%	97.8%	107.4%	103.7%	104.8%		
		数量(合計):2014年度		2,142	2,157	2,459	1,678	2,198	1,965	2,564		
		数量(合計):2015年度		2,245	2,347	2,691	1,798	2,399	2,180	2,715		
		数量(合計):対比率		104.8%	108.8%	109.4%	107.2%	109.1%	110.9%	105.9%		
		粗利益(合計):2014年度		33,104	36,032	42,496	26,754	37,161	31,636	43,283		
		粗利益(合計):2015年度		35,740	38,961	44,052	26,781	39,433	32,685	45,281		
		粗利益(合計):対比率		108.0%	108.1%	103.7%	100.1%	106.1%	103.3%	104.6%		



表示されるデータセレクトター(ページ 0)は、対比計算専用のデータセレクトターです。対比方法に応じて表示内容が異なります。通常のデータセレクトター(ページ 1~10)を併用することができます。

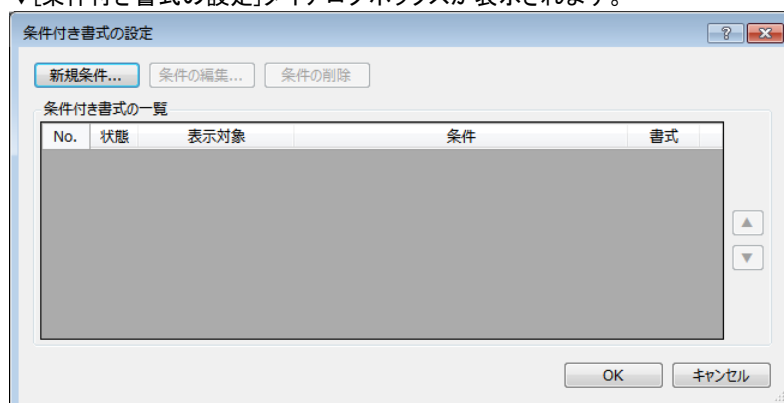


対比計算された集計表を解除する場合は、対比計算アイコンをクリックします。(メニューバー[ツール]-[対比計算]-[解除])

◆ 条件付き書式

設定した条件に該当するセルを、指定した書式で強調表示します。

- ① [条件付き書式]アイコンをクリックします。
(メニューバー[書式]-[条件付き書式の設定])
- ▼[条件付き書式の設定]ダイアログボックスが表示されます。



② [新規条件]ボタンをクリックします。

③ [設定方法:]から、[集計項目に対する設定]が[条件式による設定]を選択します。

▼[集計項目に対する設定]の場合:[条件の種類:]を、指定した値を選択します。種類に応じて[条件の値]を設定します。

▼[条件式による設定]の場合:集計項目に対して、四則演算子/優先演算子(括弧)/テンキーを利用して任意に条件式を設定します。

④ [書式]ボタンをクリックします。

▼[書式設定]ダイアログボックスが表示されます。

⑤ 文字列の修飾・背景色・枠色を設定して、[OK]ボタンをクリックします。

▼[プレビュー:]に設定した書式が表示されます。

⑥ プレビュー確認後、[OK]ボタンをクリックします。

▼[条件付き書式の設定]ダイアログボックスに戻り、[条件付書式の一覧]に設定した条件が表示されます。(最大 64 個まで設定できます)

No.	状態	表示対象	条件	書式
1	☒	全集計項目	集計値は、空欄	1,234
2	☒	粗利率(計算式)	集計値は、10% より小さい	1,234

- ⑦ [状態]欄のチェックボックスを確認します。チェックオンされている条件を集計表に反映します。確認後、[OK]ボタンをクリックします。

▼書式が反映された集計表が表示されます。

		1	2	3	4	5	6
		± 2011年度	± 2012年度	± 2013年度	± 2014年度	± 2015年度	合計
1	広島	予算額(合計)	1,454,600	1,347,510	1,894,000	2,269,000	9,311,310
		売上金額(合計)	1,336,806	1,356,641	1,897,182	2,327,148	9,316,392
		達成率(計算式)	91.9%	100.7%	100.2%	102.6%	100.1%
2	名古屋	予算額(合計)	1,460,000	1,542,366	2,077,054	2,481,000	10,163,764
		売上金額(合計)	1,439,949	1,537,210	2,105,302	2,557,477	10,323,488
		達成率(計算式)	98.6%	99.7%	101.4%	103.1%	101.6%
3	大阪	予算額(合計)	1,484,000	1,637,000	2,134,000	2,471,000	10,460,000
		売上金額(合計)	1,464,646	1,686,630	2,142,730	2,500,536	10,548,066
		達成率(計算式)	98.7%	103.0%	100.4%	101.2%	100.8%



[集計項目に対する設定]の場合、指定した集計項目の集計値セルのみを強調表示します。[条件式による設定]の場合は、強調表示の対象は行/列を単位とし、単一の集計項目のみを使った条件式でも、指定された集計項目の集計値セルのみを強調することはありません。



同一セルに複数の条件が合致した場合、[条件付き書式の一覧]の上から順に優先して適用されます。一覧表の並び順は右横の[▲][▼]ボタンで変更できます。



[条件付き書式の設定]ダイアログボックスで、[条件付き書式の一覧]から選択している条件に対して[条件の編集]や[条件の削除]が行えます。

◆ ランキング(順位)

集計表の集計結果(集計値)を昇順または降順で並べた場合のランキング(順位)を、新たな数値項目列として表示します。

①

[ランキング]アイコンをクリックします。
(メニューバー[ツール]-[ランキング]-[設定])

▼[ランキングの設定]ダイアログボックスが表示されます。

ランキングの設定

対象データの指定:

No.	表示	表示名称	数値項目	集計方法	条件	適用範囲
1	☒	予算額(順位)	予算額	合計	大きい値が1位	全体
2	☐	売上金額(順位)	売上金額	合計	大きい値が1位	全体
3	☐	達成率(順位)	達成率	計算式	大きい値が1位	全体

表示方法

順位付けの方向: ☒ 行(縦)方向 ☐ 列(横)方向

配置の位置: ☒ 前へ配置 ☐ 後ろへ配置

表示イメージ:

	列項目	列合計
行項目	順位	集計値
行合計		総合計

OK キャンセル

- 順位を表示させたい集計値のチェックボックスをチェックオンします。
- チェックオンした集計値の[条件]欄の[▼]ドロップダウンリストから順位付けのルールを、[適用範囲]欄の[▼]ドロップダウンリストから順位を表示する対象セルを指定します。

対象データの指定：

No.	表示	表示名称	数値項目	集計方法	条件	適用範囲
1	☐	予算額(順位)	予算額	合計	大きい値が1位	全体
▶ 2	☒	売上金額(順位)	売上金額	合計	大きい値が1位 ▼	全体
3	☐	達成率(順位)	達成率	計算式	大きい値が1位	全体

条件は、大きい値が 1 位/小さい値が 1 位、適用範囲は、全体/集計欄/合計欄から指定できます。

- 表示方法を指定します。ラジオボタンのチェックオンに連動して[表示イメージ]が変わります。

表示方法

順位付けの方向：
 ☒ 行（縦）方向
☐ 列（横）方向

 配置の位置：
 ☐ 前へ配置
☒ 後ろへ配置

表示イメージ：

	列項目	列合計
行項目	集計値 ↓ 順位	
行合計		総合計

- 設定後、[OK]ボタンをクリックします。
▼新たにできた<*** (順位)>という集計項目に順位が表示されます。

		± 2014年度	± 2015年度	合計
1	広島	± 2014年度	± 2015年度	合計
		± 2014年度	± 2015年度	合計
		± 2014年度	± 2015年度	合計
		± 2014年度	± 2015年度	合計
2	東京（本店）	± 2014年度	± 2015年度	合計
		± 2014年度	± 2015年度	合計
		± 2014年度	± 2015年度	合計
		± 2014年度	± 2015年度	合計
3	名古屋	± 2014年度	± 2015年度	合計
		± 2014年度	± 2015年度	合計
		± 2014年度	± 2015年度	合計
		± 2014年度	± 2015年度	合計

- 配置切替アイコンをクリックすると順位の表示位置が変わります。

		± 2011年度	± 2012年度	± 2013年度
1	広島	± 2011年度	± 2012年度	± 2013年度
		± 2011年度	± 2012年度	± 2013年度
		± 2011年度	± 2012年度	± 2013年度
		± 2011年度	± 2012年度	± 2013年度
2	東京（本店）	± 2011年度	± 2012年度	± 2013年度
		± 2011年度	± 2012年度	± 2013年度
		± 2011年度	± 2012年度	± 2013年度
		± 2011年度	± 2012年度	± 2013年度

		± 2011年度	± 2012年度	± 2013年度
1	広島	± 2011年度	± 2012年度	± 2013年度
		± 2011年度	± 2012年度	± 2013年度
		± 2011年度	± 2012年度	± 2013年度
		± 2011年度	± 2012年度	± 2013年度
2	東京（本店）	± 2011年度	± 2012年度	± 2013年度
		± 2011年度	± 2012年度	± 2013年度
		± 2011年度	± 2012年度	± 2013年度
		± 2011年度	± 2012年度	± 2013年度

		± 2011年度	± 2012年度	± 2013年度
1	広島	± 2011年度	± 2012年度	± 2013年度
		± 2011年度	± 2012年度	± 2013年度
		± 2011年度	± 2012年度	± 2013年度
		± 2011年度	± 2012年度	± 2013年度
2	東京（本店）	± 2011年度	± 2012年度	± 2013年度
		± 2011年度	± 2012年度	± 2013年度
		± 2011年度	± 2012年度	± 2013年度
		± 2011年度	± 2012年度	± 2013年度



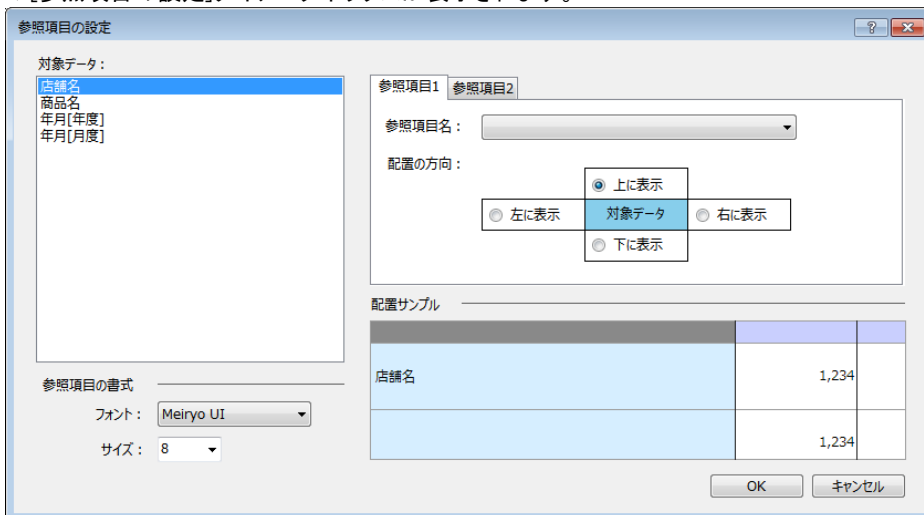
ランキングの表示を解除する場合は、[ランキング]アイコンの[▼]ドロップダウンリストから[解除]をクリックします。（メニューバー[ツール]-[ランキング]-[解除]）

◆ 参照項目設定

データ定義画面で設定した参照項目や分析項目を組み合わせ、同一セル内に複数の項目名を表示します。

- ①  [参照項目の設定]アイコンをクリックします。
(メニューバー[ツール]-[参照項目の設定])
※[参照項目の設定]アイコンがツールバーにないときには、「C00-00_4 ◆ツールバーのカスタマイズ」を参照してください。

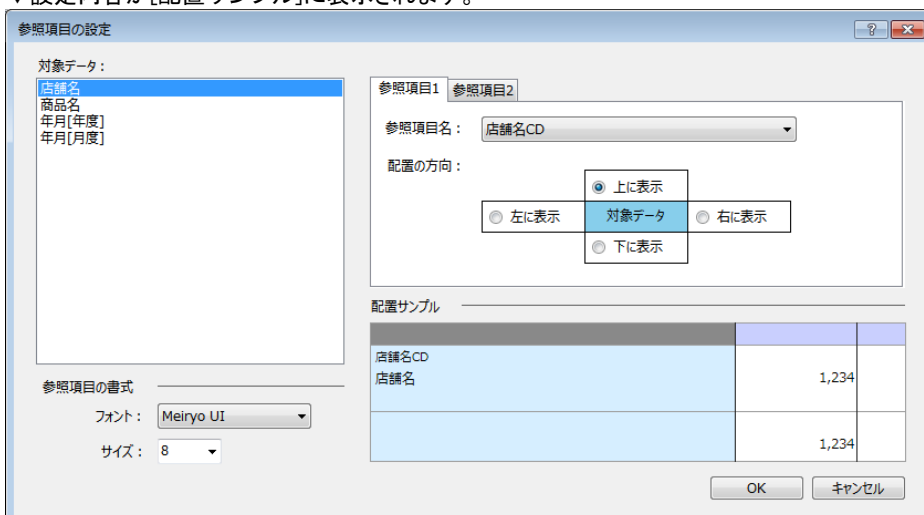
▼[参照項目の設定]ダイアログボックスが表示されます。




参照項目として設定できるのは、データ定義画面で[参照項目]または[分析項目]として設定された項目で、かつクロス集計表の構成要素になっていない項目です。

- ② [対象データ:]欄で、参照項目を付与したい分析項目を選択します。
- ③ [参照項目名:]欄で、対象データと関連付けたい項目を、[▼]のドロップダウンリストから選択します。
- ④ 対象データと参照項目の配置を指定します。

▼設定内容が[配置サンプル]に表示されます。



- ⑤ 設定後、[OK]ボタンをクリックします。

▼参照項目と分析項目がセル内に表示されました。

			3	4	5	6
			± 2013年度	± 2014年度	± 2015年度	合計
1	T005 広島	予算額(合計)	1,894,000	2,269,000	2,346,200	9,311,310
		売上金額(合計)	1,897,182	2,327,148	2,398,616	9,316,392
		達成率(計算式)	100.2%	102.6%	102.2%	100.1%
2	T000 東京 (本店)	予算額(合計)	2,858,000	3,089,107	3,233,187	13,773,250
		売上金額(合計)	2,934,068	3,252,971	3,484,175	14,450,724
		達成率(計算式)	102.7%	105.3%	107.8%	104.9%



参照項目表示を解除する場合は、[参照項目の設定]ダイアログボックスで、[対象データ:]欄の[▼]ドロップダウンリストから空欄(未定義)を選択して[OK]ボタンをクリックします。

◆ 印刷/データ出力

作成したクロス集計表を印刷、または他のアプリケーションファイルに出力することができます。
ここでは印刷と Excel 出力の手順を紹介します。

- ① [印刷]アイコンの[▼]ドロップダウンリストから[プレビュー]をクリックします。
(メニューバー[ファイル]-[印刷]-[プレビュー])

▼[印刷プレビュー]画面へ遷移します。

印刷設定パネル

1 / 2 (1×2) 単一ページ 2015/05/22 16:58:00

店舗名 ↓ × 年月[年度] ↓
[年月[年度]] 2015年度 / [コナ名] 季節商品, P C

		2015年度		
			第1四半期	第2四半期
T005 広島	予算額(合計)	1,086,200	320,000	245,000
	売上金額(合計)	1,128,937	328,412	257,660
	達成率(計算式)	103.9%	102.6%	105.2%
	予算額(合計)	446,200	155,000	105,000
	売上金額(合計)	469,412	159,481	111,636
	達成率(計算式)	105.2%	102.9%	106.3%
季節商品	予算額(合計)	640,000	165,000	140,000
	売上金額(合計)	659,525	168,931	146,025
	達成率(計算式)	103.1%	102.4%	104.3%
	予算額(合計)	1,538,187	473,187	365,000
	売上金額(合計)	1,684,502	477,449	372,737
	達成率(計算式)	109.5%	100.9%	102.1%
T000 東京 (本店)				



集計表画面で表示している集計表がそのまま印刷対象となります。また、印刷されるフォントや罫線等のデザインも集計表と同じになります。なお、グラフが全画面表示になっている場合は、グラフをプレビュー表示します。

- ② 左端の[印刷設定パネル]に主な印刷の設定項目をまとめています。

印刷設定パネル

用紙の向き 縦

印刷順序 上から下

列幅指定 標準

拡大・縮小率 100%

部数 1

部単位で印刷する

テンプレート登録

[印刷実行]ボタン	印刷を実行します。
[ページ設定]ボタン	印刷設定の詳細を設定します。(下表参照)
[余白の表示/非表示]ボタン	余白の表示/非表示を切り替えます。[余白表示]で表示される余白線を利用して列幅を任意に調整できます。
用紙の向き	縦/横を指定します。
印刷順序	上から下/左から右を指定します。
列幅指定	標準/自動/任意を指定します。
拡大・縮小率	25%~400%で指定します。
[テンプレート登録]ボタン	印刷/PDFのテンプレートを登録します。

[印刷設定パネル]以外の詳細設定は、[ページ設定]ボタンをクリックして表示される[ページ設定]ダイアログボックスの各タブを切り替えながら設定します。

ページ設定

用紙 余白 ヘッダー フッター タイトル クロス集計表

行項目の出力 ☒ 先頭ページのみ ☐ すべてのページ

列項目の出力 ☒ 先頭ページのみ ☐ すべてのページ

合計行の背景色 ☒ 色付けする ☐ 色付けしない

合計列の背景色 ☒ 色付けする ☐ 色付けしない

グラフ出力 ☒ 出力しない ☐ 出力する

用紙	用紙の向き・印刷順序・拡大・縮小率印刷・センタリングの設定
余白	上下左右の余白・タイトル行の高さの設定
ヘッダー	ヘッダーを出力するページの指定・配置やフォントの設定
フッター	フッターを出力するページの指定・配置やフォントの設定
タイトル	主題、副題の指定・配置やフォントや表示方法の設定
クロス集計表	行/列項目の出力、合計行の背景色、グラフの出力指定

- 3  [印刷実行]ボタンをクリックして、印刷を開始します。
- 4 印刷設定の内容をテンプレートに登録する場合は、[テンプレート登録]ボタンをクリックし、[印刷]もしくは[PDF]を指定して登録します。
- 5 [閉じる]アイコンをクリックして、印刷プレビュー画面を閉じます。

▼集計表画面に戻ります。

		1	2	3	4	5	
		2015年度					
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
1	T005 広島	予算額(合計)	1,086,200	320,000	245,000	310,000	211,200
		売上金額(合計)	1,128,937	328,412	257,660	324,410	218,455
		達成率(計算式)	103.9%	102.6%	105.2%	104.6%	103.4%
2	季節商品	予算額(合計)	446,200	155,000	105,000	105,000	81,200
		売上金額(合計)	469,412	159,481	111,636	115,784	82,512
		達成率(計算式)	105.2%	102.9%	106.3%	110.3%	101.6%
3	P C	予算額(合計)	640,000	165,000	140,000	205,000	130,000
		売上金額(合計)	659,525	168,931	146,025	208,626	135,943
		達成率(計算式)	103.1%	102.4%	104.3%	101.8%	104.6%
4	T000 東京(本店)	予算額(合計)	1,538,187	473,187	365,000	380,000	320,000
		売上金額(合計)	1,684,502	477,449	372,737	481,777	352,540
		達成率(計算式)	109.5%	100.9%	102.1%	126.8%	110.2%



登録された印刷や PDF 出力のテンプレートを実行すると、[印刷プレビュー]画面ではなく、[印刷]ダイアログボックスや[PDF ファイル出力]ダイアログボックスが表示され、印刷実行や PDF ファイルの保存が行えます。

- 6  続いて、[Excel 出力]アイコンをクリックします。
(メニューバー[ファイル]-[データ出力]-[Excel ファイル])

▼[Excel ファイル出力]ダイアログボックスが表示されます。

出力ファイル	保存先フォルダーとファイル名を入力します。
出力範囲	集計表準拠/階層一括展開を指定
出力対象の指定	[○Excel テンプレートを使用する]を指定した場合は、適用する Excel テンプレートファイルを指定します。(事前に作成が必要です)
Excel 出力データの開始位置	空欄の場合は「A1」セルが開始位置になります。
集計項目名を連続表示する	連続表示する場合はチェックオンします。
項目名を出力する	行/列の項目名を表の左上に表示します。
付加情報	表示させたい情報にチェックオンします。



出力範囲で[階層一括展開]を指定した場合、[データと書式を出力する]を選択しても、出力結果は[データのみ出力]と同じになります。

- 7 設定後、[OK]ボタンをクリックします。
▼確認メッセージが表示されます。

- 8 [はい]ボタンをクリックします。
▼Excel ファイルが表示されます。

		A	B	C	D	E	F	G	H	I
				年月[年度]	2015年度					合計
1	店名	コード名	年月[四半期]		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
2	T005	広島		予算額(合計)	1,086,200	320,000	245,000	310,000	211,200	1,086,200
3				売上金額(合計)	1,128,937	328,412	257,660	324,410	218,455	1,128,937
4				達成率(計算式)	103.9%	102.6%	105.2%	104.6%	103.4%	103.9%
5		季節商品		予算額(合計)	446,200	155,000	105,000	105,000	81,200	446,200
6				売上金額(合計)	469,412	159,481	111,636	115,784	82,512	469,412
7				達成率(計算式)	105.2%	102.9%	106.3%	110.3%	101.6%	105.2%
8		P C		予算額(合計)	640,000	165,000	140,000	205,000	130,000	640,000
9				売上金額(合計)	659,525	168,931	146,025	208,626	135,943	659,525
10				達成率(計算式)	103.1%	102.4%	104.3%	101.8%	104.6%	103.1%
11	T000	東京(本店)		予算額(合計)	1,538,187	473,187	365,000	380,000	320,000	1,538,187



データ出力には[Excel ファイル出力]以外に、[クリップボード出力]、[テキストファイル出力]、[HTML ファイル出力]、[PDF ファイル出力]があります。

(メニューバー[ファイル]-[データ出力]-[クリップボード]/[***ファイル])



メニューバー[ファイル]-[データ出力]-[出力オプション]で表示される[データ出力オプション]ダイアログボックスでは、ファイルの種類毎に出力範囲や付加情報、外部アプリケーションとの連携用オプション等を設定することができます。

また、[データ出力ダイアログの設定値]でチェックオンしている状態が、各データ出力のダイアログボックスに反映されます。

データ出力ダイアログの設定値

- ☒ 前回の出力時に設定した内容を利用する
- ☐ このダイアログで設定した内容を利用する